山口大学医学部附属病院

整形外科

【診療科(部)の特色】

(1) 当教室は坂井教授を中心として、四肢関節、脊椎脊髄、手外科、骨・軟部腫瘍、外傷、スポーツ障害、関節リウマチ、小児整形外科など、運動器疾患全般に対して幅広い専門性を持って診療に当たっています。特発性大腿骨頭壊死症や脊椎靭帯骨化症などの指定難病にも対応可能です。大学病院は地域医療を支える中心的基幹病院であり、他の地域中核病院や診療所と密に連携し、高水準の医療提供が可能な医療圏を構築し、総合的に質の高い医療提供を目指しています。
(2) ①医工連携と先進技術：コンピューター支援技術（CAOS）を利用した人工関節置換術や骨切り術、バイオメカニクス研究を進めています。②高度な手術と救急対応：マイクロサージャリー技術を応用した機能再建手術から、多発外傷に対する Damage Control Orthopaedics（DCO）の概念を取り入れた集学的治療まで幅広く対応しています。③研究の最前線：関節外科を中心に脊椎外科、腫瘍、手外科、リハビリテーションすべての領域において、将来性・発展性の高い研究課題を積極的に展開しています。（研究の詳しい内容は教室ホームページ http://ds0.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~y-ortho/ をご覧ください。）

【研修内容】

① 1 年目(大学病院における研修)
整形外科疾患の診断法、治療法の基本の修得。
外来：指導医が行う整形外科一般の初診外来および再診外来における診察法、治療法の習得。
病棟：入院患者を担当。指導医のもと診察法、処置、手術、術前術後管理を習得。
② 2〜3 年目(教育関連病院における研修)
2 年目に地域主幹病院で研修すると 3 年目は原則として地域連携病院で研修（2 年目に地域連携病院で研修すると 3 年目は原則として地域主幹病院で研修)。地域連携病院では一般整形外科医として外来・病棟診療、各手検査手技、手術手技についてより実践的に学ぶ。2 年目からは指導医のもとで整形外科の手術の執刀も行う。
③ 4 年目(大学病院における研修)
各臨床班(脊椎、上肢、下肢、腫瘍)の専門医のもとで学んできた知識および技術の総括。専門医とともに研修 1 年目医師の指導も行う。

【研修目標】

私たちは到達目標を「自立したプロフェッショナルとしての整形外科医師」としています。新専門医制度に先立ち、山口大学形外科では、2009 年より独自の後期研修プログラムを構築・運用してきました。その経験と実績により洗練された研修内容を提供します。

【研修スケジュール例】

	1年目	2年目	3年目	4年目
Ⅰ	山口大学附属病院	地域主幹病院	地域連携病院	山口大学附属病院
Ⅱ	山口大学附属病院	地域連携病院	地域主幹病院	山口大学附属病院

【主な関連病院】

岩国市医療センター医師会病院、宇部興産中央病院、小郡第一総合病院、国立病院機構関門医療センター、済生会下関総合病院、済生会山口総合病院、山陽小野田市立小野田市民病院、周東総合病院、鼓ヶ浦こども医療福祉センター、徳山中央病院、長門総合病院、萩市民病院、光市立光総合病院、山口県立総合医療センター、山口労災病院

【指導医からのコメント】

山口大学整形外科・医局長の西田周泰です。「地方の大学で、最先端の学びや十分な経験ができるだろうか？」そんな不安は一切不要です。あなたの医師人生を充実させるための圧倒的な環境があります。大学病院での研修で強固な基礎を固めた後は、豊富な関連病院ネットワークの中で、多くの症例の手術を主治医として執刀してもらえます。さらに大学院進学後（希望者）は、国内に留まらず国際学会での発表や、国際誌への論文投稿まで、指導医が責任を持って世界レベルへと引き上げます。また、キャリアの選択肢が広いことも特徴で、整形外科専門医はもちろん、リハビリテーション科やリウマチなどの複数専門医を戦略的に同時取得できる体制も完備しています。これだけの経験ができる一方で、私たちは「良質な医療は、充実した私生活から」と考え、家族や自分の時間を大切にできるようチーム制の導入など様々な労務管理施策を徹底しています。皆さんがプロとして一流に育ち、同時に一人の人間として幸福な人生を送れるよう、私たちが全力でコミットします。安心して山口大学整形外科へ飛び込んできてください！

【先輩(若手医師)からのコメント　清水雅大（令和３年度入局)】

山口大学の研修プログラムは、及び私が勤めてきた徳山中央病院、県立総合医療センター、済生会下関総合病院は手術件数が多く、基本的には主治医執刀性です。指導医の先生のもとで安全で確実な経験を積むことが出来ます。キャダバートレーニング（遺体手術手技研修）への参加、県内の他の医師との連携による情報共有や学会発表（国内・海外）のチャンスも非常に豊富です。指導・教育環境が極めて高いレベルで整っており、満足度の高い研修生活を送ることができます。

【お問い合わせ先】

山口大学医学部附属病院　整形外科医局長　西田周泰
TEL：0836-22-2266　E-mail：nishida3@yamaguchi-u.ac.jp